越 谷 市 立 病 院

医療連携だより

発　　行
患者支援センター
越谷市東越谷 10-32
電　話　048-965-2221(代)
ＦＡＸ　048-965-5222
kanjashien@city.koshigaya.lg.jp

第 65 号　令和 8 年(2026 年)10 月

外来・入院での鼓膜換気チューブ留置を積極的に行っています



耳鼻咽喉科　医長
園田（そのだ）　健二（けんじ）

当科では、鼓膜切開後も改善が見られない難治性の滲出性中耳炎に対して、鼓膜換気チューブ留置術を積極的に行っております。

基本的には局所麻酔による外来手術として実施しておりますが、安静を保つことが難しいお子様や不安の強い患者様におかれましては、入院のうえ、全身麻酔下での安全な留置術にも柔軟に対応しております。

チューブ留置後は、術後の経過観察や位置確認のため当院にて数回フォローさせていただきますが、病状が安定した段階で速やかにご紹介元へ逆紹介させていただきます。処置や手術などの専門的な対応が必要なフェーズは当院にお任せいただき、その後の経過観察や耳科管理につきましては、患者様が通い慣れた「かかりつけ医」にて引き続きご診療いただくことで、円滑な機能分担と診療連携を目指しております。

「外来での処置が難しく全身麻酔を考慮したい」「なかなか改善せず対応に苦慮している」といった症例がございましたら、是非お気軽に当科へご相談・ご紹介いただけますと幸いです。

○外来担当表

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
園田	AM 園田	◎坂本	園田	◎鶴見
西山	西山	◎池田	◎松本	◎大渕

（令和８年１０月１日現在）

※医師の状況等により変更の場合があります。
　ホームページに最新の情報を掲載していますのでご参照ください。
※◎は非常勤医師です。



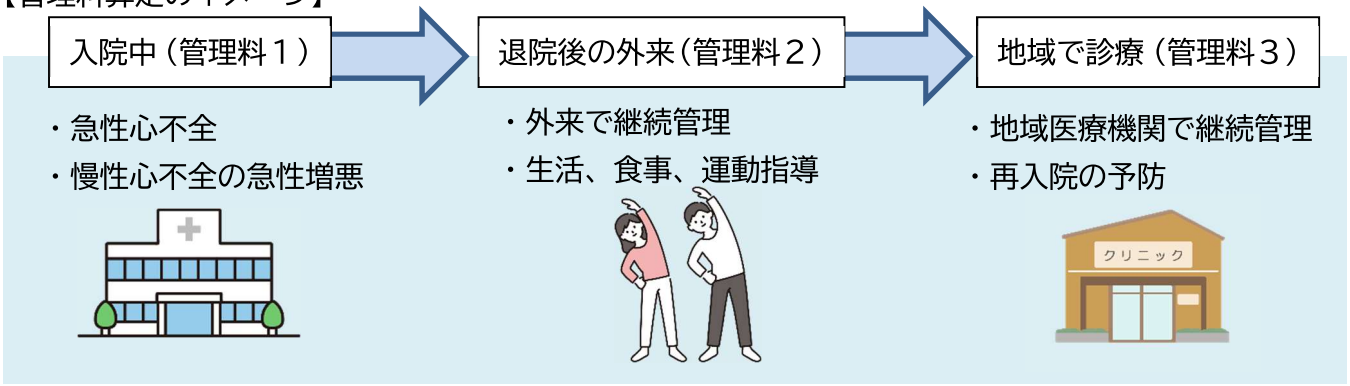
心不全再入院予防継続管理料１の算定を開始しました

当院では以前より心不全療養指導士を中心に入院中の患者さんへの療養指導を実施し、心不全患者の再入院予防に努めてきました。この度、多職種連携を強化し、2026 年 10 月 1 日より心不全再入院予防継続管理料１での算定を開始しています。これにより、一層地域の医療機関の皆さまと連携を深めていきたいと考えております。

心不全の場合、患者さん自身が疾患の理解を深め、服薬・食事・水分・体重等を管理し、セルフモニタリングをすることで、心不全憎悪の徴候を早期に発見し、適切に対応できる体制が求められます。以前にもご紹介しました「越谷市心不全手帳」を地域の病院・診療所・在宅等で共通のツールとして活用し、シームレスな連携を図ることで、心不全患者の生活の質の維持・向上と、再入院予防につなげていきたいと思います。

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【管理料算定のイメージ】



令和８年１０月着任の各科医師をご紹介します



【婦人科】

医師　阿保（あぼ）　絢子（あやこ）



婦人科腫瘍に関心があり、子宮筋腫や卵巣腫瘍などの婦人科疾患を中心に、幅広く診療に携わっていきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【婦人科】

医師　内田（うちだ）　まりあ



１０月から半年間お世話になります。産科・婦人科分野において、ご紹介いただけますと、幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

【放射線科】

医師　樋口（ひぐち）　嶺央（れお）



一般放射線診断を専門としております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

【内科】

医師　高橋（たかはし）　秀門（しゅうと）



後期研修医として、生活習慣病や循環器疾患を中心に診察しております。今後とも、何卒よろしくお願いいたします。